

東京 肝臓のひろば

令和5年(2023年)12月号 第257号

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201
電話 (03) 5982-2150 振替 00120-6-40564
FAX (03) 5982-2151 口座名 東京肝臓友の会
<http://www.tokankai.com>



出初式(でぞめしき)

切り絵・佐藤廣士さん

日本肝臓病患者団体協議主催
第11回世界・日本肝炎デーフォーラム 第2部

2030

肝炎エリミネーションを目指す
日本とブルキナファソの課題

肝炎医療コーディネーターの取り組みと
両国の協働を考える

※今号の講演録は7月開催の肝炎デーフォーラムの様態を掲載いたします。
なお会場で使用したフランス語のスライドをそのまま掲載しています。ご了承ください。

米澤 日肝協代表幹事の米澤敦子が進行を務めます。よろしくお願
いいたします。今日はブルキナフ
アソから患者団体アソウト・エパ
ティットのドラマン・カニアさん
と患者団体SOS肝炎ブルキナの
クレール・オルタンス・サノンさ
ん、お2人の代表の方に来ていた
だいております。この企画案がス
タートしてからまる3年。ようや
く実現できたということで、私も
感無量です。

それでは、最初の基調講演で
す。ブルキナファソの患者団体
「アソウト・ヘパティット」の創立
者で、ブルキナファソ国立研究機
関センター・ムラズ研究員生物学
者、博士のドラマン・カニアさん
に「ブルキナファソにおける肝炎
対策の実態と課題」というテーマ
でお話しいたします。カニアさ
んよろしくお願いたします。

ブルキナファソにおける 肝炎対策の実態と課題



講師：ドランマン・カニア
(アソウト・ヘパティット)

スライド1

皆さん、こんにちは！

東京で開催されました、この世界日本肝炎デーのフォーラムに参加することができて、嬉しい気持ちでいっぱいです。この場をお借りして、米澤様、清本様、榛田様はじめ、主催者の皆様、そして日本の患者団体の皆様に深く感謝の気持ちを抱きたいと思えます。今回の来日をきっかけに、今後とも長期にわたり、良好な協力関係を築けることを願っております。

本当にありがとうございます。

私の本日のプレゼンテーション

は、「ブルキナファソにおけるウイルス性肝炎の現状と課題」についてです。

スライド2

私のプレゼンテーションは以下の構成になります…

・ アフリカにおけるB型およびC型肝炎の流行状況

Situation et défis de la lutte contre l'hépatite au Burkina Faso

Dr Dramane KANIA
Centre MURAZ & Assaut-Hépatites
Bobo-Dioulasso, Burkina Faso

Journée de lutte contre les hépatites au Japon
Tokyo, 23 juillet 2023

スライド1

Plan de la présentation

- Situation épidémiologique des hépatites virales B et C en Afrique
- Situation épidémiologique des hépatites virales B et C au Burkina Faso
- Stratégies pour l'élimination des hépatites virales au Burkina Faso
- Défis, solutions et perspectives pour l'élimination
- Conclusion

スライド2

Situation épidémiologique des hépatites virales en Afrique subsaharienne

- 91 millions d'Africains infectés par l'hépatite B ou C (OMS 2022)
- Hépatites B et C sont à l'origine de cas de cirrhose et de cancer du foie
- Plus de 8 % de la population totale de 19 pays est infectée par le virus de l'hépatite B
- Prévalence de l'hépatite C est supérieure à 1 % dans 18 pays
- En 2020, la Région africaine représentait 26 % de la charge mondiale de morbidité due aux hépatites B et C avec 125 000 décès associés

スライド3

スライド3

アフリカでは、9千万人以上という驚くべき数の人々が、B型およびC型肝炎ウイルスに感染しています。これは公衆衛生上の深刻な問題です。この肝炎により、肝硬変や肝臓がんで亡くなる人が多数います。アフリカの国々において、総人口の8%以上がB型肝炎

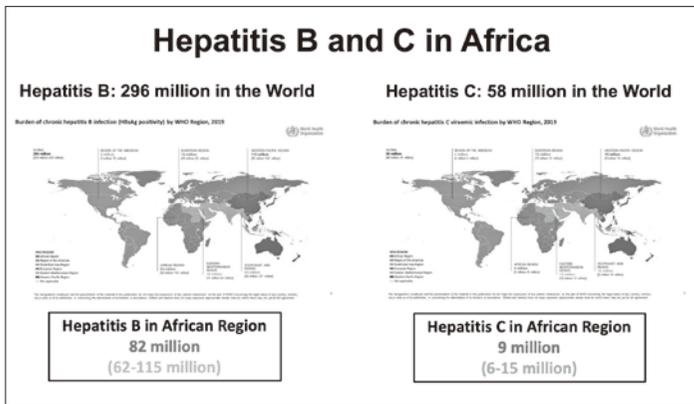
- ・ブルキナファソにおけるB型およびC型肝炎の流行状況
- ・ブルキナファソにおけるウイルス性肝炎のエリミネーションに向けた戦略
- ・エリミネーションに向けた課題、解決策、展望・まとめ

炎ウイルスに感染している国というのは、19か国にのぼります。また、C型肝炎の有病率が1%を超えている国も、18か国にのぼります。2020年時点で、アフリカ地域は世界のB型およびC型肝炎感染者の26%を占め、またそれによる死亡者数は年間125、000人と推計されています。このような状況を考えると、アフリカにおける肝炎の問題は喫緊の課題であり、迅速な対策が必要とされています。

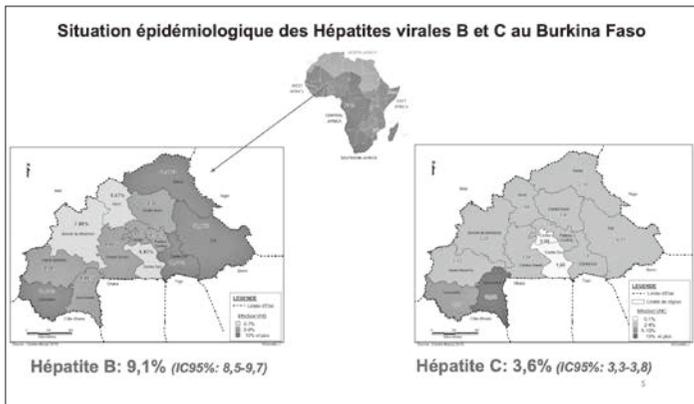
スライド4

世界保健機関（WHO）の推計によると、B型肝炎ウイルスに感染している人の数は全世界で2億9600万人、うち、8200万人がサハラ以南アフリカ地域に住んでいます。また、C型肝炎ウイルスに感染している人の数は全世界で5800万人とされていますが、うち、900万人がサハラ以南アフリカに住んでいます。

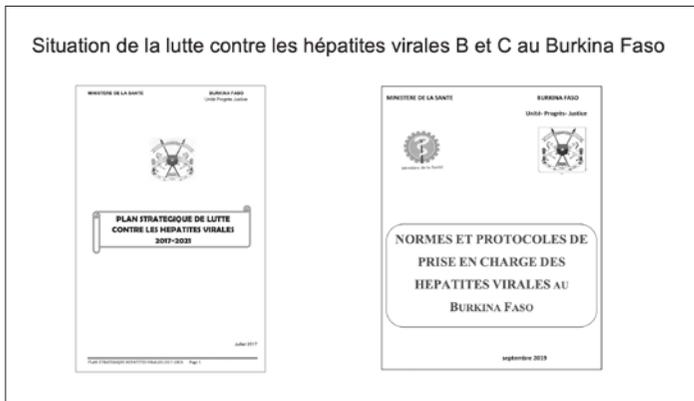
スライド4



スライド5



スライド6



スライド5

では、ブルキナファソの状況はどうでしょうか？
ブルキナファソは西アフリカを中心に位置し、面積は272、967km²、人口は2050万人です。コートジボワール、ガーナ、トーゴ、ベナン、ニジェール、マリに囲まれています。B型肝炎の有病

率は国全体において9.1%であり、地域によって多少のばらつきを認めます（7%から11%の範囲内）。一方、C型肝炎の有病率は国全体では3.6%ですが、各地域で大きな差があります。中部では1%ですが、カスケード地方では6.2%、西部では13.2%に達しています。

スライド6

ブルキナファソでは、2017年に肝炎への取り組みに関する戦略計画が策定されました。この計画は、ブルキナファソにおけるウイルス性肝炎への対策の枠組みを定め、大まかな方針を示しています。戦略計画の策定を受け、その後、ブルキナファソにおけるウイ

ルス性肝炎のスクリーニング／診断および治療のための臨床ガイドラインが作成されました。これらのガイドラインには、ウイルス性肝炎の診療に関する標準プロトコル（計画）が明記されています。これらの基準には、治療プロトコルやウイルス性肝炎のスクリーニングの手順が定義されています。

スライド7

ブルキナファソでは、2006年に、乳幼児の拡大予防接種プログラムにB型肝炎ワクチンが導入されました。ただし、当初は出生後8週から接種を開始するというスケジュールでした。2022年1月より、WHOの推奨に従い、出生時に最初の投与（バース・ドーズ）が行われるようになりました。ブルキナファソの国家的な肝炎対策プログラムは2017年の設立時当初保健省内に独立した位置づけで運営されていましたが、2023年3月からはHIV対策部

門の中に統合され、HIVに対する既存の手段や施策を共有する目的で、HIV対策の一部という位置づけとなりました。さらに、2023年3月からはHIV、梅毒、B型肝炎の母子感染を統合的に取り組むトリプルエリミネーションプログラムが始まりましたが、予算がついていないのが問題です。

Situation de la lutte contre les hépatites virales B et C au Burkina Faso

- Introduction vaccin des nourrissons dans le PEV depuis 2006
- Adoption de la stratégie de vaccination à la naissance à partir de janvier 2022
- Programme autonome de lutte contre l'hépatite (2017) → Programme intégré dans les services VIH (mars 2023)
- Plan Triple e-TME 2021-2025 mais nécessite des financements pour sa mise œuvre
- Traitement VHC à base de SOFOSBUVIR/DACLATASVIR gratuit (sept. 2022) grâce à un plaidoyer auprès du fonds mondial du fait de la forte prévalence dans certaines régions mais dépistage anti-VHC et PCR ANR VHC n'est pas gratuit → **Traitement non accessible à TOUS**
- Traitement VHB (TENOFIVIR) disponible à la Centre d'achat des médicaments mais à la charge du patient → **Non accessible à la grande majorité patients**
- Dépistage de l'hépatite B et C, la charge virale ADN VHB et ARN VHC, le Fibroscan et l'échographie ne sont pas toujours disponible et sont à la charge du patient → **Non accessible**
- Existence d'associations de patients de lutte contre les hépatites virales: Assaut-Hépatites, SOS Hépatites, ...
- Célébration de la journée mondiale de l'hépatite le 28 juillet de chaque année

スライド7

このように制度上は肝炎対策が進んだようにみえても、予算がついておらず、実際の現場においては検査、予防、治療にアクセスできない人々は大きく限られています。

例えば、C型肝炎の治療は2022年9月より無料化される、という画期的な出来事がありました。これは先に述べたように、一部地域で有病率が非常に高く、国が世界基金（グローバル・ファンド）に働きかけた結果です。ただし、検査については世界基金からの援助はなく、従来通り患者の自己負担なので、無料の治療にアクセスできない人が多数いる点

大きな問題です。B型肝炎に関してはそれ以前の問題で、検査及び治療に関し、すべて患者の自己負担となっています。ブルキナファソには5つの肝炎に関する患者団体・市民団体があります。その中のASSAUT-HEPATITES（アソート・ヘパティット）とSOS HEPATITES（SOSヘパティット）

スライド8

ト）が、本日、日本で行われる肝炎デーと一緒に祝うために参加しています。私どもの団体でも7月28日に世界肝炎デーを祝います。

スライド8

それでは、私どもの団体、アソート・ヘパティットの活動について簡単にご説明いたします。現場

Conseil - Dépistage - Vaccination Prise en charge médicale des patients



スライド8

PBC AIH PSC 通信

PSC オンライン交流会のお知らせ

Zoomを使って、
気軽にお話ししましょう♪

2024年 1月 21日(日) 15時~17時

対象 PSC (原発性硬化性胆管炎) の患者・家族の方**申込メ切** 1月17日(水)**申込方法**

① 次のURLまたはQRコードからアクセスしてください。

<https://tokankai.com/archives/4751>

② 「申込フォーム」に必要事項を入力してください。

③ 自動返信メールが届いたら申込完了です。



●開催3日前までに、当日の案内メール(参加のためのURL等)をお送りします。

seiky@tokankai.comからのメールを受信できるよう、必ず受信許可設定をお願いします。

●参加URLが届かないなど、お問い合わせは

seiky@tokankai.comまたは電話03-5982-2150までお願いします。

(電話は、祝日を除く火・木・金 10時~16時)

★難病医療費助成制度の変更について(新規に申請する場合)

このたび難病法が改正され、医療費助成制度が一部変更になりました。従来は、新規に医療費助成を「申請」して認定された場合、「申請日」に遡って助成が開始されてきました。(申請~受給者証交付の間にかかった医療費は精算・還付されます。)ところがこの方法では、例えば難病を発症または重症化して入院し、退院後に「申請」手続きをした場合は、入院中の医療費は助成されない、という重症時の医療費負担の問題がありました。

そこで2023年10月1日からは、新規申請時に「(医療費助成の対象となる)重症度分類を満たすと診断された日」まで遡って助成が開始されます。(軽症でも高額な医療費がかかり申請する場合、【軽症高額該当】基準を満たした翌日から助成開始)

ただし遡れるのは原則1ヶ月で、やむを得ない理由があれば最大3ヶ月遡ることが可能です。詳しくは行政の担当窓口、または東京肝臓友の会古川へお問い合わせください。

(PBC・AIH・PSC部会 古川)

同病者による面談相談

☆肝臓病のこと、生活のこと、なんでも お気軽にご相談ください☆

日時：**1月30日(火) 3月30日(土)** ※12月はお休みです
13時30分～16時30分 (1人1時間)

場所：東京都障害者福祉会館1階 相談室

対象：東京都在住、在勤の方優先

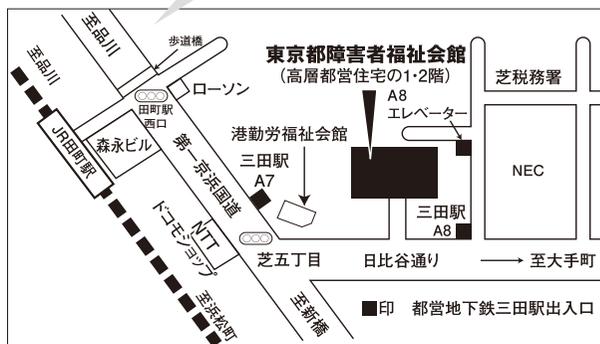
主催：東京都

相談料：無料(予約制)

相談員：米澤敦子(東京肝臓友の会 事務局長)

【交通案内】

- ◆JR「田町駅」西口徒歩5分
- ◆都営三田線「三田駅」出口A8 徒歩1分
- ◆都営浅草線「三田駅」出口A7 徒歩1分



申込方法

※電話でお申し込みください。

【申込先】都障害者福祉会館相談係

〒108-0014 港区芝5-18-2

☎ 03 (3455) 6321

情報BOX

◆「何でも語ろう会」

2月11日(日) 10時15分から12時

場所 八王子市民活動支援センター



八王子市旭町12-1
ファルマ802ビル5階

JR中央線
八王子駅北口徒歩約8分

京王線
京王八王子駅中央口 徒歩約5分

内容 肝臓病患者の治療状況等
を中心に、出席者の方々が悩みや経
験などを自由に語りあいます。

申込 不要

問合せ：事務局 東(ひがし)

TEL 090-4122-6229

✉ yhigashi@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ

https://kanyuka802.blog.jp



今号の表紙絵

再掲載(二〇〇五年)

出初式(てぞめしき)

正月に消防士や鳶(とび)の
者が初めて勢ぞろいをし、消
防作業の演習を行う行事で
ある。このとき、鳶の者の梯
子(はしご)乗りが演じられる
所もある。多くは一月六日に
行われている。

切り絵と文 佐藤廣士



本会報掲載の記事を転載する場合はご連絡ください。

編集人・東京肝臓友の会 ○三(五九八二)二二五〇 千161-0033 東京都新宿区下落合四一七五二一〇二
発行人・障害者団体定期刊行物協会 ○三(六二七七)九六一一 千157-0072 東京都世田谷区祖師谷三一七二一〇二

頒布価格500円(会費に含まれている)